

# 環境・安全レポート 2020

(レスポンシブル・ケア活動報告)



# 目次

1. はじめに	1p
2. 三重工場方針	1p
3. 環境・安全マネジメントシステム状況	2p
(1) 環境・安全管理推進組織	2p
(2) 資格取得者一覧	2p
4. 環境管理活動	3p
(1) 環境目標	3p
(2) 環境パフォーマンス	3p
(3) 環境会計	3p
5. 労働安全・保安活動	4p
(1) 労働安全・保安活動目標	4p
(2) 労働安全活動の取り組み	4p
(3) 保安活動の取り組み	4p
6. 社会貢献活動	5p
(1) 地域とのコミュニケーション	5p
(2) 清掃活動	5p
7. 三重工場概要	6p
8. アンケート	7p

# 1. はじめに

ADEKA三重工場は1965年の創業以来、プラスチック用樹脂添加剤や情報化学品材料等の製品を製造しお客様へ安定供給しております。安全な企業活動を運営するために、当社が掲げる「4つの安全（労働安全・品質安全・環境安全・設備安全）」の管理活動にこだわり業務を遂行しております。本サイトレポートでは環境安全と労働安全の諸活動について紹介します。

環境安全は「ISO14001：環境マネジメントシステム」で環境改善活動を継続的に展開し、地域環境保全や持続可能な社会形成に寄与しております。労働安全衛生につきましても「ISO45001：労働安全衛生マネジメントシステム」で安全衛生管理を万全な状態を維持し、工場で働く全ての従業員・関係者が健康で幸せな生活が持続できることを念頭に改善活動に取り組んでいます。

今後とも安全・安心でありかつ信頼を得られる工場であり続けられるよう、工場一体となって更なる改善・改革に取り組んでいく所存です。三重工場の4つの安全の諸活動を皆様にご理解いただくと共に、ご意見・ご指導をいただければ幸いです。

株式会社 

2020年9月

三重工場長 **澤田 俊夫**

## 2. 三重工場方針

### 三重工場環境方針

#### <理念>

株式会社ADEKA 三重工場は、自然豊かな地域に立地している化学工場であることを認識し、地球環境保全への取り組みを工場運営の最重要課題のひとつと位置づけ、生物多様性と地球温暖化に配慮し、環境と調和した活動を推進し、地球環境にやさしい工場にします。

#### <方針>

##### ○法規制の遵守と継続的改善

地球環境に関する法令・協定および当工場が同意した要求事項ならびに社内基準を遵守すると共に、技術的・経済的に可能な範囲で地球環境保全の継続的改善を行います。

##### ○地球環境負荷の低減

工場活動が地球環境に及ぼす影響を捉え、持続可能な目的・目標を設定し、廃棄物・エネルギー等の地球環境負荷の低減を行います。

##### ○地球環境保全意識の高揚

環境教育・啓蒙活動を通じて、従業員一人一人が地球環境保全意識を向上させ、自主管理の徹底に取り組めます。

##### ○生物多様性への取り組み

「生物多様性」の取り組みを推進し、保全を図ります。

##### ○対外連携の促進

地域社会の一員としての自覚を持ち、積極的な情報公開で意思疎通の充実を図り社会に安心と信頼を与える工場にします。

2020年 4月 1日

株式会社ADEKA  
三重工場長

### 三重工場労働安全衛生方針

#### <理念>

株式会社ADEKA 三重工場は、社会の一員として労働安全衛生が工場活動の基盤であることを認識し、安全で快適な職場作りを推進すると共に、社会に安心と信頼を与える工場作りを目指します。

#### <方針>

##### ○法規制の遵守

労働安全衛生に関する法令・協定および当工場が同意した要求事項ならびに社内基準を遵守します。

##### ○安全・健康の確保

取り扱い物質および設備の性質を把握し、取り扱い方法・設備の適正な管理を実施し、傷害及び疾病を予防します。適正な目標を定め、作業環境並びに労働安全衛生パフォーマンスの継続的改善に取り組めます。

##### ○労働安全衛生意識の高揚

教育・啓蒙活動を通じて、当工場内で働く人が労働安全衛生意識を向上させ、自主管理の徹底に取り組めます。労働安全衛生目標を設定し、目標を実行するための方向性を示します。

##### ○対外連携の促進

地域社会の一員としての自覚を持ち、積極的な情報公開で意思疎通の充実を図り、社会に安心と信頼を与える工場作りに努めます。

2020年 4月 1日

株式会社ADEKA  
三重工場長

### 3. 環境・安全マネジメントシステムの状況

#### (1) 環境・安全管理推進組織

三重工場は、「ISO14001：環境マネジメントシステム」及び「ISO45001：労働安全衛生マネジメントシステム」の運用により、常駐協力会社を含む全ての部門及び階層の役割、責任、権限を明確にし、工場一体となった環境・安全の管理活動を行っています。

#### (2) 資格取得者一覧

三重工場で働く全ての人々に対し、環境・安全マネジメントシステムの周知と自覚の徹底を図っています。環境・安全の継続的改善を進めるため、全ての部署で計画に基づいた教育訓練、公的資格取得に努めています。主たる資格の取得者一覧を次に示しました。

◎主たる資格の取得者一覧表（2020年10月末現在）

該当法規制	資格名称	必要人数	取得者数	対前年
大気汚染防止法	公害防止管理者 大気1種、2種	2名	10名	-1
水質汚濁防止法	公害防止管理者 水質1種、2種	2名	11名	+2
廃棄物処理法	産業廃棄物焼却施設技術管理士	1名	4名	+1
〃	産業廃棄物中間処理施設技術管理士	1名	2名	±0
〃	特別管理産業廃棄物管理責任者講習修了者	1名	5名	-1
労働安全衛生法	有機溶剤作業主任者技能講習修了者	28名	152名	+14
〃	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習修了者	29名	145名	+11
〃	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了者	29名	136名	-1
〃	第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習修了者	16名	83名	±0
〃	乾燥設備作業主任者技能講習修了者	17名	56名	-1
〃	フォークリフト免許取得者	86名	175名	+10
〃	クレーン運転業務特別教育修了者	21名	115名	+3
〃	1級ボイラー技士	4名	16名	+2
〃	2級ボイラー技士	4名	25名	+2
〃	ボイラー整備士	0名	6名	+1
〃	第1種 衛生管理者	1名	2名	±0
消防法	危険物取扱者甲種	0名	37名	+9
〃	危険物取扱者乙種4類	28名	128名	+7
〃	危険物取扱者乙種4類以外	7名	105名	+24
省エネ法	エネルギー管理士	1名	5名	+3
高圧ガス保安法	高圧ガス製造保安責任者（冷凍機械）	1名	2名	±0
〃	高圧ガス製造保安責任者（乙種化学、丙種化学）	4名	16名	±0
計量法	計量証明事業試験	1名	4名	-1
電気事業法	第2種 電気主任技術者	1名	1名	-1
〃	第3種 電気主任技術者	0名	1名	±0
〃	高圧・特別高圧電気取扱業務特別教育	1名	1名	±0

## 4. 環境管理活動

### (1) 環境目標

2019 年度は次の目標を掲げ活動してきました。

目標			結果	評価*1
① 公害・環境事故の発生	0 件		0 件	○
② 省エネルギー推進	エネルギー原単位	対前年 1%改善	4%悪化	×
	CO <sub>2</sub> 排出量原単位	対前年 1%改善	1%悪化	×
③ ゼロエミッション推進	最終埋め立て比率	0.1% 未満	0.22%	×

\*1評価 ○：目標達成 ×：目標未達

### (2) 環境パフォーマンス

#### 1) エネルギー使用量及びCO<sub>2</sub>排出量

生産活動に伴う消費エネルギーは加熱用蒸気を製造するボイラ燃料用都市ガスと、動力機器・照明機器に利用する電力があります。これら関連設備は省エネタイプを導入する他、設備の点検整備、生産効率化を図ることで省エネルギーとCO<sub>2</sub>排出量削減を推進しております。

2019 年度は蒸気トラップ整備、動力機器インバーター制御導入等により、エネルギー使用量とCO<sub>2</sub>排出量のそれぞれの原単位を1%改善しましたが、高エネルギー使用製品の生産割合が増えたことにより、工場全体でエネルギー原単位は4%（CO<sub>2</sub>排出量原単位は1%）の悪化となりました。

図-1. エネルギー使用量と原単位

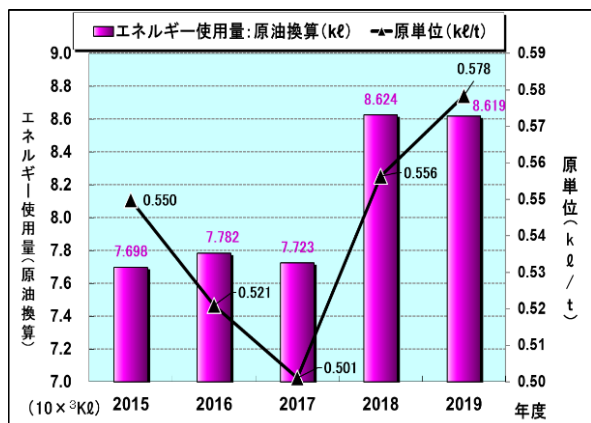
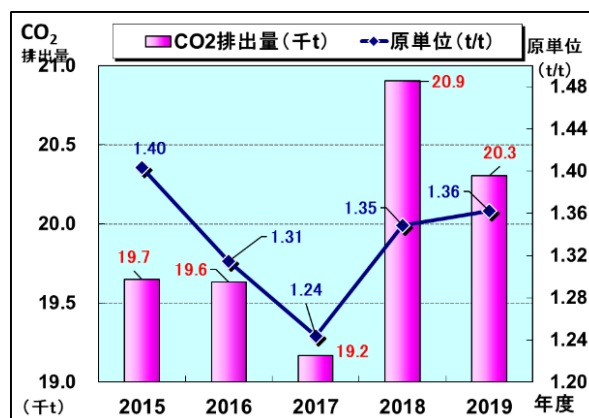


図-2. CO<sub>2</sub>排出量と原単位



注：図-1～4の昨年報告値との違いについて。→ 2015～2019年の各種環境データは、本社CSR報告書との整合性を図るために数値の見直しを図っております。

#### 2) ゼロエミッション率\*

生産活動で発生する廃液を廃棄物処理（焼却）から活性汚泥処理（微生物処理）へ徐々に処理転換を図り、廃棄物発生量と埋立量をそれぞれ削減しています。

2019 年度はゼロエミッション率\*で 0.22%となり、昨年度より 0.01 ポイント改善しました。

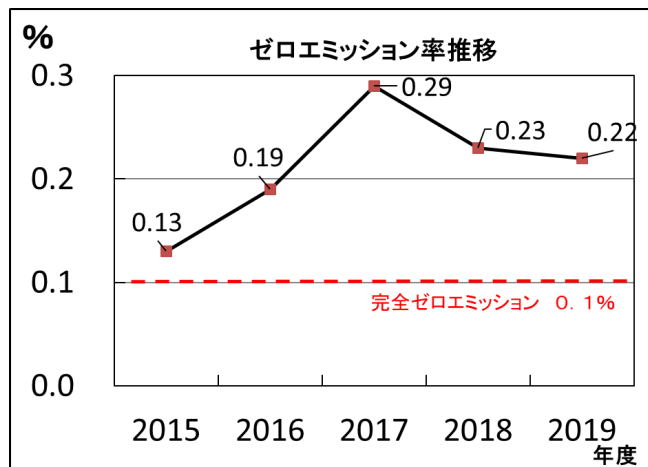
完全ゼロエミッション\*は未達成でしたが、今後も廃棄物削減活動に積極的に取り組み、完全ゼロエミッション達成を目指していきます。

\*ゼロエミッション率・完全ゼロエミッション

産業廃棄物発生総量に対する最終埋立量の比率。

当社は 0.1%未満を「完全ゼロエミッション」と定義。

図-3. 廃棄物ゼロエミッション



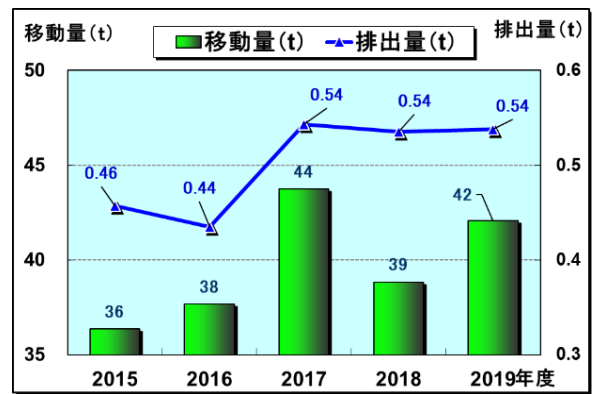
### 3) 化学物質の排出・移動 (目標外)

三重工場では PRTR 法の対象化学物質を原料とし、プラスチック用樹脂添加剤や情報化学品材料といった製品を製造しております。

2019 年は年間 1 t を超える PRTR 法対象物質は 27 品目となり、2018 年度比で大気への排出量は増減はほぼ同量でしたが、移動量(廃棄物)については品質管理の対応で 8% 増加となりました。

今後も排出量の管理(把握)を促進し、削減検討にまでつなげていきます。

図-4.PRTR(移動量&排出量)の推移



### (3) 環境会計

2019 年度は環境設備投資は増額となり維持管理費用は減少となりました。

単位:千円

環境会計項目	2018 年度	2019 年度	増減
環境設備投資額	231,851	365,943	+58%
維持管理費用	169,555	156,810	△7.5%

## 5. 労働安全・保安活動

### (1) 労働安全・保安活動目標

2019 年度 労働安全目標	結果	評価*
① 労働災害ゼロ	① 休業災害 0 件・不休災害 4 件	×

\*評価 ○: 目標達成 ×: 目標未達

### (2) 労働安全活動の取り組み

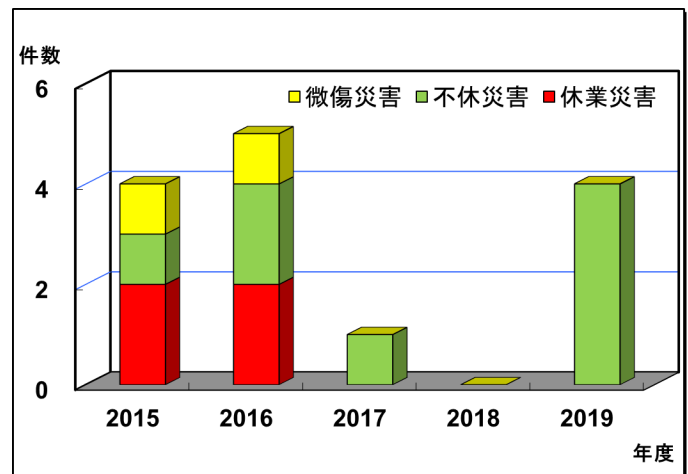
#### 1) 2019 年度の安全成績

2019 年度は不休災害 4 件発生させ、大変反省の年でありました。

災害対策に 4M(人・設備・方法・管理)変更で発生する潜在危険の予知スキル(経験&知識の不足、慣れからの過信)の向上が課題となります。

この課題に対し、設備面・人間行動面でフォローし、ゼロ災害を達成できる職場作りを目指していきます。

図-5. 災害件数の推移



#### 2) 安全活動(RC委員会活動)

##### ① ヒヤリハット報告・教育活動

“不安全状態・場所・作業は直ぐ報告”を習慣化することで事故・災害を予防し、これら安全活動が正しく理解・継承されるよう定期的に教育も行っています。

##### ② 安全キャンペーン

各職場に毎月の安全テーマを持ち回りで資料作成、全職場へ教育展開することで、安全知識・意識を向上させています。



教育活動風景 (2019年9月10日撮影)



安全キャンペーン

### (3) 保安活動の取り組み

工場では地震、火災、化学物質漏洩等のあらゆる緊急事態を想定した対応手順の整備と、自衛消防隊を組織し消火操法・救命処置等の訓練を定期的に行い、緊急時の対応できる技術力を維持しております。

2019年度は、5月に地震→火災発生を想定した総合防災訓練（避難&消火訓練）を桑名市消防本部・東員町消防署と合同開催し、2020年3月には東員町消防署長を審査員とした消火栓操法コンクールを実施し、保安力向上に努めています。



2019年5月29日 総合防災訓練

2020年3月17日 消火栓操法コンクール

## 6. 社会貢献活動

### (1) 地域とのコミュニケーション

#### 1) 東員町商工祭

地域産業の一翼を担うべく商工会活動に積極的に参加しました。



2019年10月20日 撮影

#### 2) 勤労体験・インターンシップ

未来を担う「子供たち・若者たち」の勤労観・職業観の育成のため、2019年度も地元3校の小中学校の要請をうけ、勤労体験学習を受け入れました。

更に地域の高校からはインターンシップの受け入れと企業見学会を実施しました。



2020年2月6日 撮影



2019年11月20日 撮

#### 3) 地域ボランティア

三重工場は毎週月曜日の朝に地元団地内の交差点ニカ所で、小学校の児童に対して交通指導を実施しています。



2018年5月 撮影

#### 4) 障がい者への支援（月に1度）

障がい者が製造するパンの販売所を工場の食堂横に提供し、販売に協力しています。

### (2) 清掃活動

工場周辺の一斉清掃を毎期（6月と12月）実施し、周辺地域の環境美化維持に貢献しております。



2019年6月25日 撮影

## 7. 三重工場概要

- 所在地 : 三重県員弁郡東員町山田 3707-1  
 (南製造所は同町内：瀬古泉 19)
- 工場開設 : 1965年(昭和40年)10月
- 敷地面積 : 144,465 m<sup>2</sup> (43,711 坪)
- 常駐協力会社 : ADEKA 総合設備(株)、ADEKA 物流(株)、  
 (株)ケイエス、三重加工サービス(株)
- 生産品目 : 塩化ビニル用安定剤、塩化ビニル・ゴム用可塑剤、  
 ポリオレフィン用抗酸化剤・光安定剤などの樹脂添加剤、  
 感熱紙用添加剤、光重合開始剤・エポキシ樹脂接着剤  
 などの情報化学品材料



南製造所

### 工場沿革

年	沿 革
1965	アデカ・アーガス化学(株)三重工場として操業開始
1970	塩化ビニル・ゴム用無毒安定剤製造棟 (N プラント) 完成
1980	ポリオレフィン用添加剤製造棟 (MP プラント) 完成
1986	抗酸化剤製造棟 (SP プラント) 完成
1990	旭電化工業(株)と合併、ポリオレフィン添加剤大型製造棟 (FM プラント) 完成
1991	ポリエステル系可塑剤大型製造棟 (PN プラント) 完成
1993	ISO 9002 (品質管理マネジメントシステム) の認証取得、 情報化学品製造棟 (CL-I プラント) 完成
1995	TPM 第1類受賞、FM プラント増能 (FM-II プラント) 完成
1996	ISO 14001 (環境管理マネジメントシステム) の認証取得
1999	光記録材料製造棟 (LMS プラント) 完成
2000	BS8800 (英国規格協会安全衛生管理システム規格) 適合 (2001年にOHSAS 18001へ切替え)
2004	FM プラント増能 (FM-III プラント) 完成
2006	株式会社 ADEKA へ社名変更
2007	FPD 向け情報化学品製造棟 (CL-II プラント) 完成、CL-II 検査棟完成
2008	中実験棟 (スケールアップ検討設備) 完成
2009	添加剤ワンパック顆粒品製造棟 (G-III プラント) 完成
2013	BCP (事業継続計画) 運用開始
2015	工場創業 50 周年
2017	高性能添加剤製造棟 (SP-III プラント) 完成
2019	FM プラント増能 (FM-IV プラント) 完成、 ISO 45001 (労働安全衛生マネジメントシステム) 認証取得 (OHSAS18001より移行)



FM-IVプラント

この環境・安全レポートに関するご質問、ご意見は下記の窓口へお願いします。

作成	株式会社 ADEKA	三重工場	安全・環境管理委員会事務局	
確認	株式会社 ADEKA	三重工場	安全・環境管理責任者	出口滋樹
窓口	株式会社 ADEKA	三重工場	業務部 業務課長	岡本恵美
住所	〒511-0251	三重県員弁郡東員町山田 3707-1		
TEL	0594-76-2330(代)	FAX	0594-76-3011	



## ご意見をお聞かせください

私たちは地球環境の保全と労働安全衛生に積極的に取り組んでいます。

今回、環境・安全レポート 2020 を発行いたしました。未だ不十分な面が多々あるかと思っております。皆様よりいただいたご意見、ご感想を参考とさせていただき、より良い活動を進めたいと考えています。皆様の忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

株式会社 **ADEKA** 三重工場  
安全・環境管理委員会事務局  
FAX 0594-76-3011

1. この環境・安全レポートの記載項目はいかがですか。  
a. 物足りない      b. 普通      c. 充実している      d. その他(                      )
2. この環境・安全レポートの記載内容はいかがですか。  
a. 理解できない      b. 普通      c. よく理解できた      d. その他(                      )
3. ご意見、ご感想をお願いします。

※ お名前、ご住所などは個人情報となりますので、記入は任意です。ご記入いただいた個人情報は本アンケートの調査・分析や今後の CSR 活動の参考にさせていただき目的に限り利用させていただきます。また、個人情報は適切に管理し、第三者への開示は行いません。

ご勤務先 \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

連絡先ご住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ FAX 番号 \_\_\_\_\_